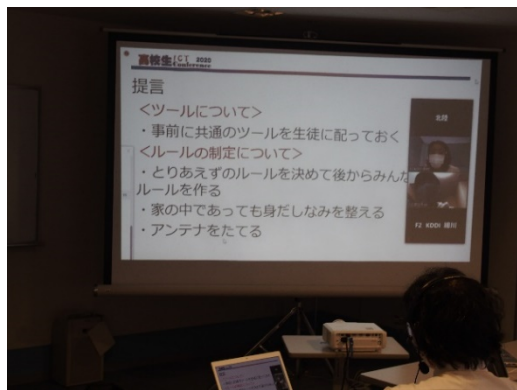


高校生 I C T Conference 2020 in 石川 を開催



会場での発表の様子

総務省は、令和2年10月11日（日）、金沢市内のITビジネスプラザ武蔵において、高校生ICTカンファレンス実行委員会（実行委員長 米田 謙三）とともに、高校生によるワークショップ「高校生 I C T Conference 2020 in 石川」を開催し、石川県内の3校から生徒26名がオンラインにより参加しました。

高校生 I C T Conferenceは、電気通信事業者団体・企業・有識者・関係府省庁が連携し、青少年のインターネット利用環境整備を目指した事業として2011年から毎年度開催しているもので、今年度は全国15カ所で開催予定となっています。

当日は、実行委員長 米田 謙三氏の司会により、梶田 昌生 当局情報通信部長の挨拶の後、第一部では、細川 一人氏（KDD I 株式会社北陸総支社管理部マネージャー）が「5Gの未来」と題して講演しました。

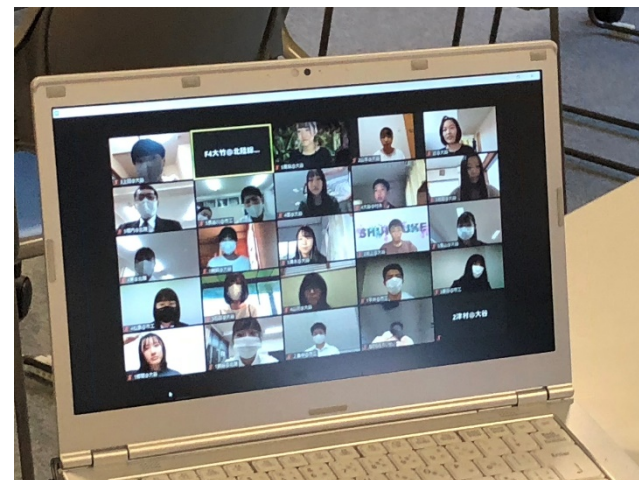
第二部では、参加者を5つの班に編成し、「新しい生活様式とICT活用法 ～行動制限の時代に生きる～」をテーマにオンライン形式により議論を行いました。今年は、風水害発生、新型コロナウイルス流行による休校により、各地でICT機器活用による授業が行われ、各班ではそれらが便利だった点、不便だった点を検証して、I C Tを実用的なツールとするための提言をまとめました。

各班で取りまとめられた提言は、石川県代表に選出された小松大谷高校の上田 登偉さんから11月15日（日）にオンライン開催される「高校生 I C T Conference 2020 in サミット※」において発表される予定です。

最後に、金沢大学大学院教職実践研究科 准教授 加藤 隆弘氏が全体講評し、「これからもコロナ禍は続き課題や問題が出てくると思うが、従来どおりではできないことでも、『私ならこうできる』、『もっとよくできる』と若者の視点で、分析的、批判的に考え、新しい生活をしていってほしい」とのメッセージで、「高校生 I C T Conference 2020 in 石川」を締めくくりました。

※ 昨年度の「高校生ICT Conference 2019 in サミット」の概要は次のホームページに掲載されています。

<https://www.good-net.jp/ict-conference/2019/tokyo2019/>



オンラインでの参加者の様子